

生き物つながりたんけん隊 野鳥観察

～武庫川河岸～

- ◆日時；2016年 1月28日（木） 8：30～12：10
- ◆場所；末成小学校/第2多目的ホール・武庫川河岸
- ◆目的；・「鳥の特徴」「鳥の生態」などを学ぶ
・武庫川に飛来する渡り鳥をはじめ、野鳥の生態をじっくり観察する
- ◆対象；末成小学校3年生 49名（12班）
担任 石政先生、中嶋先生、補助教員 2名
- ◆スタッフ；MNC23名（講師；木村（俊））

宝塚市立末成小学校の1回だけの環境体験学習をおこないました。これは武庫ネイチャーのホームページなどで環境体験学習支援を知った末成小学校からのたつてのお願いで、テストケースとして実施することとなったものです。子どもたちのためにと、連日の支援となったスタッフも多かったのですが、23名が参加して野鳥観察を実施しました。

数日続いた大寒波の後、高気圧に覆われ青空と暖かい日差しにめぐまれた、絶好の観測日和となりました。心配された鳥の数も下見時と打って変わって多く、ちょっと珍しい水鳥もいて、しっかりと観察ができました。



スケジュール

- | | | |
|-------|--------------------------|----------|
| 8：30 | MNCスタッフ 玄関前に集合 | 打ち合わせ・準備 |
| 8：45 | 児童第2多目的ホール入室
はじめのあいさつ | ；先生・木下 |
| 8：50 | 鳥のお話（パワーポイントで） | ；木村 |
| 9：20 | 双眼鏡の使い方指導 | ；木村 |
| 9：30 | 武庫川河岸へ出発！ 玄関前に集合 | |
| 10：00 | 武庫川河岸で野鳥観察（班単位で行動） | ；各指導者 |

安全な場所から観察し、堤防下には降りない

スコープが少ないので譲り合って

10:50 観察終了 武庫川河岸を出発→学校へ

11:20 鳥合わせ 班単位で

11:30 「生き物のつながり」についてのお話 ; 木下

12:00 児童感想発表・まとめ

12:10 終了

(1) 鳥のお話 (木村)

まず野鳥の勉強です。パワーポイントをつかってたくさんの写真を見ながら、鳥について学習しました。鳥を勉強して何が分かるかとか、鳥の体の特徴などをまず学びました。鳥はオスがきれいで目立ちますが、とりわけきれいなオシドリも子育ての時期になると地味になってしまうそうです。鳥は何を食べるのでしょうか。シジウカラは昆虫の幼虫を1日に400~500匹も食べるという話に「虫がかわいそう」という声があがりました。鳥の中には蜜を吸う



鳥もいます。モズという鳥は昆虫、カエル、ヘビまで食べます。タカのように大きな鳥はウサギやタヌキなども食べます。鳥ってすごいな、と驚いていました。



今日見る鳥はカモが多いのですが、カモは秋から冬にわたってくるのが多い。これは冬鳥といって、もっと寒い所から冬を越すためにやってきます。逆に春から夏に来るのが夏鳥でエサの多い所で子育てをするためにやってきます。

野鳥の種類や大きさの話になったころ、やっと緊張が解けて声が出るようになってきました。宝塚でも130種の鳥がいると聞いて、えーっと驚いていました。宝塚の鳥は、セグロセキレイとウグイスです、ということも初めて聞いたようです。今日は、セグロセキレイを見てきましょう。さらに、鳥クイズをざっとやって、双眼鏡の使い方をやりました。さあ、いよいよ準備完了、武庫川へ向かって出発です。

(2) 野鳥観察

予定より少し遅れて、9:40ごろ学校を出発しました。学校の前の道をまっすぐ15分ぐらい歩けば武庫川です。途中の電線や木にとまるスズメやカラスも観察します。広い原っぱにたくさんの鳥が地面をつついていました。ムクドリです。こうして少しずつ期待が高まります。

10時頃到着。さっそく班ごとに観察開始です。大きく見えるスコープが2班に1台なので、2班合同での移動になります。いるだろうか?というスタッフの心配はみごとに覆されました。まず、ユリカモメの飛翔に目が行きます。シュッとしたスタイルの良さに子どもたちは気づいたでしょうか。

カモは少なめです。でも、おしりを突き出して餌をとるユーモラスな姿に喜んでいきます。何を食べてるのかな? サカナ! いえいえカモの口は横に広いよ。水草がエサだよ。そうなんだ。

スコープで地味なおカヨシガモを見せてもらいます。きれい! スコープの威力です。羽の模様がきれいです。珍しい水鳥も来ています。ツクシガモです。子どもたちよりスタッフの方が喜んでいきます。胸のこい茶色のラインがとても目立ちます。橋の下では、小さなカイツブリが浮かんではずぐもぐり、を繰り返しています。スコープを合わせてもすぐいなくなるので、スコープ担当泣かせの鳥です。肉眼で見るの

が一番、です。

ずいぶんたくさんの方が記録用紙に並びました。双眼鏡にも少しずつ慣れてきたようです。でも、そろそろ学校へ戻る時間です。あったかいし、たくさん見れて良かったね。



(3) 鳥合わせ

学校へもどり、どんな鳥を見たか班ごとに名前を確認します。



観察できた鳥（班リーダー観察シートから）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ムクドリ	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
スズメ		○	○	○	○	○					○	○
ハシブトガラス	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○
ハシボソガラス			○	○	○			○	○	○		
トビ			○		○							○
ハクセキレイ	○	○	○	○							○	○
セグロセキレイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ユリカモメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アオサギ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
コサギ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ダイサギ	○				○							

カワウ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
イソシギ	○		○									
イカルチドリ		○	○					○	○	○		
カワアイサ	○	○	○	○					○	○		
ヒドリガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
コガモ	○	○	○		○	○			○	○	○	
オナガガモ	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
オカヨシガモ		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
ツクシガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
マガモ					○			○				
カイツブリ			○	○	○	○		○			○	
タヒバリ	○	○										
ヒヨドリ		○	○	○								○
ツグミ			○		○							
ドバト	○	○	○	○	○	○	○	○		○		

観察できた鳥の写真（一部です）



アオサギ



セグロセキレイ



カワウ



コガモ



オナガガモ



ユリカモメ



仲良しユリカモメ



ツクシガモ



ヒドリガモ (オス)



ヒドリガモ (メス)



ヒドリのお食事



イカルチドリ

(4)「生きものつながり」についてのお話（木下）

末成小学校は初めてなので「生きものつながり」のお話も初めてです。今日はたくさんの鳥がいて、珍しいのもいてよかったね。みんなの周りにはどんな生きものがあるかな、と、知っていそうな生きものをあげて考えてもらいます。セミは親は木の幹で、幼虫は土の中で木の根で、木の汁を吸います。木がないと生きられません。モンシロチョウの幼虫はキャベツ、アゲハはミカンを食べるね。その植物がなくなると生きていけない。でも、食べられる植物にもいいことがあるよ、どんなことかな？ ここでしっかりと手が上がりました。「鳥が木の実を食べると、ふんから種が出るから、まいてもらっている。木は鳥に種を運んでもら

っている」。すごいね。生きものつながりをちゃんと説明できました。

生きものどうしいろいろな関係をもっているけど、食べる食べられるの関係がたくさんあります。水の中の生き物も、食べる食べられるの関係でつながっています。食べられる方はどんどん食べられてしまって、いなくなるのかな？ 「たくさん数がある」。そうだね、タンポポの綿毛は1つで200個もあるよ。カズノコのような魚の卵もすごく多いね。

でも、どうして絶滅する生きものがあるんだろう。メダカはむかし、普通にいたのに今は絶滅が心配されている。どうしてかな？ ちょっと難しい。それは田んぼが減ったり、山も開発したりして、自然が減っているから。人間が原因になっているんだね。いろんな生きものがつながっているということ、自然を守ることがとてもだいじだと、知ってほしいです。

お話が続いて少し難しかったけれど、がんばって聞いてくれました。1つでも心に残ってくれるとうれしいですね。

このあと、感想を言ってもらいました。「スコープや双眼鏡で見れてよかった」「まったく分からなかった鳥が分かってよかった」「いろいろな鳥が見れてよかった」「鳥が好きで図鑑で見るだけだったけど、まぢかで見れてよかった」など、楽しんでくれたことが分かりました。

最後に木下さんが、「学校の周りにもいろいろな鳥がいます。見えるのに見えていない。興味を持って見ると見えるし、頭に残ります。これからも興味を持って見てください」としめくくりました。MNCのスタッフにあいさつをして、今日の野鳥観察は終わりました。



班分けと担当

1班	平山	2班	水野	3班	今西・吉川
4班	中尾・石原	5班	高山	6班	高橋
7班	坂本	8班	軸屋	9班	小童
10班	村上	11班	斉藤	12班	永田

スコープ ; 1・2班黒田 3・4班村瀬 5・6班岡田 7・8班多田 9・10班木村 11・12班野村

スタッフの皆様、お疲れ様でした。

総括/木下

文・写真/吉田